

あなたのまちの
アクティブシニア

おろんの会（曾於市大隅町）

[結成]平成24年 [会長]郡山 嘉文 [会員]20名



<結成にあたって>

おろんの会は、“過疎や少子高齢化が進むこの地域を何とかしなければ”との有志の思いで平成24年に結成されました。結成にあたっては、昔のように隣近所の絆を大事にする地域にしたいとの思いから、誰もが集える場所を作ろうと、小規模多機能ホーム「より愛さかもと」の隣の敷地に三本柱の東屋『おろんの館』を建設しました。

現在、館を拠点に、鮮魚市や青空市、四季折々のイベントの開催など、元気高齢者を中心に企画から準備運営まですべてボランティアで行っています。



★“おろん”とは昔、馬を追い込んで捕獲する迫(山と山の間の谷間)を“^{おろ}笠”“おろん迫”と呼んでいたことに由来する★

<活動の内容>

◎鮮魚市（月2回）・青空市（年3～4回）

鮮魚市は、地区内に商店がなくなり、新鮮な魚介類を口にする機会が少なくなった地域住民の声にこたえるため、メンバーが片道1時間半かけ、肝付町の内之浦漁港に魚を仕入れに行き、おろんの館で販売しています。販売を始めると同時に多くの住民が集まり、人気の魚はすぐに売り切れます。また、青空市では、季節の野菜や果物、手作り食品なども販売されます。



◎四季折々のイベント

毎年9月頃、メンバー手作りのかかしが地域を盛り上げます。テーマは毎年異なり、2018年のテーマは、NHK大河ドラマ「西郷どん」です。藁を使い、精巧に作られたユニークなかかしを見たいと地区内外から見学者が訪れます。



かかし祭りのほかにも、鯉のぼりや雛祭り、クリスマスイルミネーションなど、四季折々のイベントを開催しています。



※昨年の様子

◎ほっとサービス

“話してみよう・頼んでみよう・あなたの困りごと”を掲げ、住民同士が助けあう取り組み「ほっとサービス」では、支援を必要とする高齢者宅に伺い、ゴミ出しや買い物代行、話し相手などを行います。（有償）

<活動のポイント>

◎小規模多機能ホーム「より愛さかもと」との連携

鮮魚市などのイベントには、曾於市社会福祉協議会が運営する「より愛さかもと」の利用者も一緒に参加します。地域の方々と談笑する姿や長年親しくしていた住民と触れ合う機会が増えるなど、地域福祉活動の拠点としての役割を担っています。



◎世代間交流

近くにある大隅北保育園の園児が遊びに来ると毎日にぎやかになり、高齢者は、子どもたちのかわいい笑顔に癒やされます。おろんの館は子どもたちの大事な遊び場であり、世代間交流の拠点でもあります。



おろんの会は、これからも地域住民が安心して生活できるよう、高齢者による地域貢献活動に取り組むとともに、生きがいづくりや健康増進、世代間交流等の推進を図っていきます。

このコーナーではすこやか長寿社会運動を実践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。